

県民だより



3月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160



小山市の上野昇さんと幸子さん。2人の夢を乗せたポリアンサが咲き誇ります

花に夢と希望を託して

「とちぎの花」づくり

キク、りんどう、バラ、シクラメン、そして洋らん…質、量ともに全国でもトップクラスを誇る「とちぎの花」。転作作物として、昭和四十年頃から生産が増えてきました。日照時間が長く、地形的な条件に恵まれていること、巨大な消費地に近いことなどがその理由です。平成十二年の花きの粗生産額は約八十億円にのぼります。

県では、首都圏農業を支える重要な作物として、「花き」の生産振興、消費拡大を積極的にすすめています。生産者の皆さんや県の取り組みなどをお知らせします。

■若い力でチャレンジ

親と子で、これからも農業を

小山市郊外で鉢花を生産する上野昇さんのお宅を訪ねました。上野さんは代々続く専業農家の四代目。十三年前に野菜栽培から花き栽培に転作し、長女の幸子さんとともに五棟のハウス（千坪）でシクラメンなど十三種類の鉢花を生

産しています。「二人娘なんです。農業を継いでくれるか心配でした」。

幸子さんは昇さんの思いにこたえ、県農業大学校に進み、花の栽培技術を学びました。農業を始めて八年目。「病害虫が発生したり思うようにいかないことも多いですが、自分で手をかけて育てた花がお客さんに喜ばれた時は本当にうれしい。父と意見があわずやめたいと思ったこともありましたが、今は農業を継いでよかったと思います。夫も応援してくれています」と幸子さん。「代々この地で営んできた農業を次の世代に引き継ぐことができよかったです」と昇さんは話します。

「今は花の値段も安く厳しいですが、お客さんに喜んでもらえる、品質のいいものを作っていきたいですね」。花にかける二人の思いは一つでした。

仲間とブランドを目指す

大田原市内で輪ギクを生産する中村浩一さん。一年半前に四百坪のハウスを建て、輪ギクの栽培を始めました。中村さん宅は米とニラも生産する大規模な農家。「親とは違うものを自分の力でやってみてみたかった。輪ギクは、農協のバックアップや信頼する仲間がいたから」と、輪ギクを選んだ理由を話します。

中村さんが所属する「JAなすの」のキク部会メンバーは二十七



中村さんご夫妻。出荷の最盛期に向けて芽かきの作業が進んでいました

名。月に一度の検討会では、互いのハウスを見て良い点を学びあったり、批評しあったり。品質の管理や販売対策に熱がこもります。

中村さんは県の補助事業を利用して、今年新たに六百坪のハウスを増設、規模を拡大しました。「キクづくりは手をかけただけ結果につながるからやりがいがあります。これからはもっとやっていきたい。大田原の輪ギクをブランドにしたい」と、中村さんの夢は広がります。JAの担当者も「若い参入者が増えています。品質向上と安定した収量の確保を図りながら、産地として力を伸ばしていきたいです」と話しています。

(次頁へつづく)



県内市場での県内産花きの取扱量は約3割 (宇都宮花き地方卸売市場)

県内では、こうした生産者の皆さんを支援し、県内の花き生産をさらに振興するため、様々な取り組みをすすめています。

宇都宮市上籠谷町の県農業大学校では、花き生産を支える人材を育成しています。現在、花きコ

「花きコースは人気が高いですね。実家が農家でない学生も増えてきました。みんな花に触れていると心が安らぐと言います。花栽培は大変ですが、それぞれに魅力を感じているようです」と担当の先生は話します。今月、十五名の学生が新たに花の世界に飛び立ちます。

県内で生産される花きのおよそ五割が京浜地区に出荷されています。県では、本県産花きの市場での競争力を高めようと流通対策にも力を入れています。

東京・大田市場内の県首都圏農業情報センターが入手する需要動向や他県産地の最新情報を生産・技術指導の場で役立てているほか、流通段階でのコスト削減や鮮度保持の

さらなる消費拡大に向けて

ための新たな流通システムづくりにも取り組んでいます。

県では、県内花きの生産目標を平成十七年に粗生産額九十五億円としています。この達成には、県内での県内産花きの取り扱量の拡大と消費の拡大が重要な課題です。

このため、県内市場と産地の情報交換や連携強化などをすすめるとともに、新たな販路の拡大にも取り組むこととしています。また、現在展開中の「全県フラワーパーク化推進運動」をさらに推進する

第5回 とちぎ花フェスタ

今日から開催!

日時 3月15日(金)~17日(日) 午前9時~午後4時30分(最終日は午後4時まで)

会場 とちぎ花センター、岩舟町こなら館 岩舟町下津原 ☎0282-55-5775

入場料 大人(高校生以上) 600円 小人(小・中学生) 300円 ※障害者の方及び介護者1名は無料です

ご案内図

JR岩舟駅、東武静和駅及び各駐車場からは無料シャトルバスで送迎します

- ディスプレイ飾花、フラワーアレンジメント、生け花の展示
- 県内で生産された花の展示会と品評会
- フラワーアレンジメント・押し花教室など体験イベント
- 地域の特産品、花き、農産物の販売

生産を支える人材を育成

「花きコースは人気が高いですね。実家が農家でない学生も増えてきました。みんな花に触れていると心が安らぐと言います。花栽培は大変ですが、それぞれに魅力を感じているようです」と担当の先生は話します。今月、十五名の学生が新たに花の世界に飛び立ちます。



簡易栄養診断。自分で育てる花の肥料が適切かどうかを調べます(農業大学校)



養液土耕栽培は、生育に合わせ水分と肥料をコンピュータで自動制御します



はじめて育てたデルフィニウムが咲きました(農業大学校)

他県に負けない花き生産のために

県の学生は二十八人。二年間で花き栽培の専門知識を学びながら、実習を通して実践力を身につけます。

「花づくりは想像していたより大変。今回は思ったようにいかなかったけれど、次はこの失敗をいかしてきれいに咲かせたい」と一年生の学生は話してくれました。

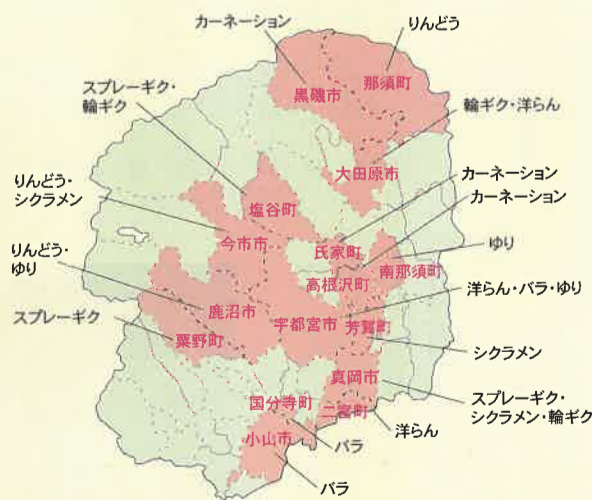
県農業試験場では、花きの生産技術や品質向上に向けた試験・研究をすすめています。特に、試験場が独自に開発した養液土耕栽培

は、連作による病気の発生や不安定な生育を改善する方法として全国的にも注目されています。花き生産者への早期普及を目指し改良を重ねています。

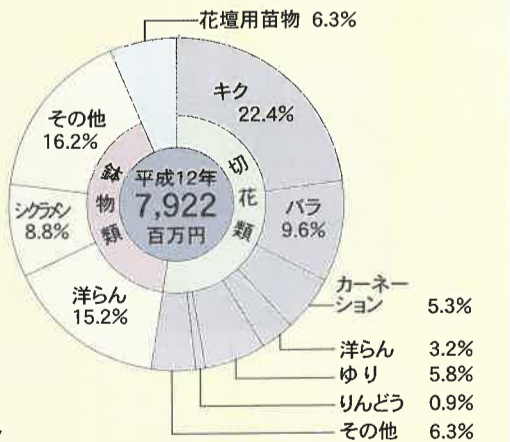
このほか、県では生産者に対する各種助成や低コスト・省力化のための技術開発、本県オリジナル品種の育成やマーケティング対策など、他県に負けない花き産地の確立に向け、総合的な生産振興をすすめています。

とちぎの花データ

●県内の主な産地



●花きの粗生産額



●東京での本県花きの順位(占有率)

- スプレーギク.....2位(19.7%)
- りんどう.....4位(5.8%)
- バラ.....5位(6.4%)
- ゼラニウム.....3位(13.4%)
- ファレノプシス.....3位(14.1%)
- シクラメン.....6位(5.6%)

※「県内の主な産地」は、主要花きの栽培面積上位3市町村を掲載(平成12年花き生産出荷統計-農水省統計局より)
 ※「東京での本県花きの順位」は、東京都中央卸売市場の入荷量から見た順位を掲載。()内は本県産花きの占有率(平成12年東京都中央卸売市場年報より)



中津座長から福田知事へ最終答申書が手渡されました

ITの活用による豊かで 快適な生活の実現へ向けて

「IT先進県とちぎ」をめざし、
「IT・経済戦略会議」の答申がまとまりました

「IT先進県とちぎ」をめざし、 戦略会議を設置

県では、日常生活や産業活動などあらゆる分野において、だれもがインターネットなどの情報通信システムを活用できる”とちぎ”づくりを進めています。IT（情報通信技術）を産業活動や生活の中にも活用していくことが、県民の生活をより豊かなものにしてゆくために重要な鍵だと考えるからです。

昨年四月には、情報関連企業等の代表や大学教授など十四名の委員で構成する「栃木県IT・経済戦略会議」を設置。第一回会議において福田知事は、「IT先進県とちぎ」を実現するために、ITを県民生活や産業活動、行政運営に積極的に活用する具体的方策を戦略的、重点的に検討いただきたい」と話し、次の四つの課題について検討をお願いしました。

- ① ITを活用した産業の振興
- ② ITを活用した行政サービスの向上
- ③ IT時代に対応した人材の育成
- ④ 情報インフラの整備

二月十五日、第九回目（最終回）の会議を開催。最終答申書がまとめられました。

最終答申書の概要

答申書は全部で六章からなり、提言にあたっての基本理念をはじめ、知事が検討をお願いした四つの課題ごとに提言がまとめられています。

特に、情報インフラのかなめである「栃木県ブロードバンドネットワーク（情報通信のための高速回線）」の整備が早急に取り組むべき課題であるとして、提言されています。

また、「ITを活用した産業の振興」では、新事業創出を支援するインキュベータ施設の整備などが、「ITを活用した行政サービスの向上」では、電子県庁の推進とともに業務の再構築・効率化を図る業務プロセスの改革が必要であるとされたほか、「IT時代に対応した人材の育成」では、学校における情報化の推進などが提言されています。

答申を生かしてITを活用した 施策をすすめます

県では、「栃木県IT・経済戦略会議」でいただいたご意見、ご提言を参考にしながら、さらに具体的なIT活用施策を展開していきたいと考えています。

今後、IT推進の基盤となるネットワーク整備のあり方を検討するほか、県立学校にパーソナルコンピュータや校内LANを整備したり、今年度引き続き県内各地でIT講習会を開催したりするなど、県民のIT活用能力習得の支援をしていきたいと考えています。また、IT産業の育成や県内の企業誘致を進めるとともに、インターネットで職場や自宅からいつでも県への申請や届出ができるようにするなど、電子県庁の実現にも積極的に取り組むたいと考えています。

「栃木県IT・経済戦略会議」の議事録等は、県ホームページでご覧いただけます

◇問合せ 県企画調整課
TEL 028-623-2206

TOPICS

とびっくす

TOPICS

「とちぎマイスター」を認定



「とちぎマイスター」の皆さん。「マイスター」は達人という意味です

製造業等ものづくりの現場では、高度な熟練技能者が多数活躍しています。県では、こうした優れた技能者の皆さんの協力を得ながら、技術・技能の維持・継承や人材育成に取り組んでいこうと「とちぎマイスター」制度を創設しました。

今回、「とちぎマイスター」として認定されたのは、三十一名の技能者の皆さんです。「機械加工」「鉄工」「建築大工」などの八職種から選ばれました。

二月二十日には、県庁で認定証の交付式が行われ、福田知事は「活力と美しさに満ちた郷土づくりに、皆さんの力を貸してください」と、期待を語りました。

◇問合せ 県職業能力開発課
TEL 028-623-3237

国会等移転は栃木・福島地域へ

目前に迫った国会等移転候補地の絞り込みに向けて、「栃木・福島地域」を全国にアピールするため、北東地域の五県（宮城、山形、福島、茨城、栃木）は、二月二十二日、都内のホテルで「北東地域首都機能移転実現総決起大会」を開催しました。

当日は、約千二百人が参加。「栃木・福島地域」の優位性を確認し、移転先地として早期に決定するよう、国会及び全国民に強く求める決議を採択しました。また、「本地域では、早期にコンパクトな国会都市ができる」との緊急提言をし、決議とあわせて衆参両議長などに要望しました。



「日本再生には決断が必要。国会等移転も早く決断を」と訴える知事

◇問合せ 県企画調整課国会等移転対策室
TEL 028-623-2209

県立足利工業高校に太陽光発電装置を設置



県立足利工業高校の30kW太陽光発電装置。同校の年間使用電力量の7%をまかなう予定です

県では、環境への負荷の少ない循環型社会づくりに向けて、新エネルギーの導入を積極的にすすめています。県内の県立学校では初めて、足利工業高校の屋上に太陽光発電装置を設置。二月十四日、稼働が始まりました。

太陽光発電は太陽光から直接電気エネルギーを取り出すもので、発電の際に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などが発生しない環境にやさしい発電システムです。

今後さらに、県有施設への設置をすすめるほか、地域社会や一般家庭にも太陽光発電の普及を図りたいと考えています。

◇問合せ 県環境管理課
TEL 028-623-3186

「平和の日」那須の集いを開催



「子供」について語りあう俵万智さんと森詠さん（大田原市那須野が原ハーモニーホールで）

県、日本ペンクラブ、大田原市の共催で、「平和の日」那須の集いが開催されました。「平和の日」の集いは、世界平和を願い、毎年、三月三日に日本各地で開催されているもので、今回が十八回目。

当日は、「水・伝説・子供・私たちの暮らし」をテーマに、著名作家八名が四組に分かれて対談。それぞれの想いをリレー形式で語りました。約千二百人の参加者は、出演者とふれあひながら、平和について一緒に考えました。

この模様は、三月二十三日（土）午後七時から、とちぎテレビで放映する予定です。

◇問合せ 県文化振興課
TEL 028-623-2153

マロニエト ガイト



花 歳 時 記

オオイヌノフグリ (ゴマノハグサ科)

地面をはうように並んでいるのは、北風から我が身と仲間を守るため。暖かい地方では1月中から観察できます。それはまるで冬のさなかに春を見る思い。田畑の縁やプランターの中でルリ色の瞳を輝かせます。

お詫びと訂正
前月号「ツバキ」のウォッチングポイントで紹介した「議会の森つばき園」は「八溝県民休養公園」の誤りでした。なお、議会の森は同公園内にあります。

県子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

●第40回企画展「科学のたまご」3月16日(土)~4月14日(日) ●おもしろくて不思議な体験型の展示物であそぼう ●科学館プレイタイム「ドタバタキッチン」3月23日(土) ①午前10時~正午 ②午後1時~4時 ●ジュースをお盆にのせてうまく運べるかな? ●星をみる会 3月20日(水)・4月13日(土) 午後7時~9時 ●大型望遠鏡で宇宙の神秘にふれてみませんか ●つちっこクラブ~かぜのひろば農園体験 4月7日(日) 午前10時~正午 ●電話申込み 親子20組(先着順) ●じゃがいもの植え付けから収穫(6月下旬頃)までを体験します

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

●川島理一郎展 3月24日(日)まで ●60年間に及ぶ自由闊達な川島の画業を油絵、水彩、素描など130点により回顧します ●常設展テーマ展示「おとなの眼、こどもの眼」 3月24日(日)まで



川島理一郎
「花」1942年

県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

●テーマ展「おじいさんやおばあさんの子供のころ暮らし」「栃木の旧石器」「よそおい」 ●4月14日(日)まで、「木の良さ再発見」 ●4月7日(日)まで ●体験学習「石ウスと火起こしに挑戦」 ●3月17日(日) 午前11時~ 当日受付(先着順30名)



火起こし



石ウス

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

●松竹大歌舞伎公演-坂東三津五郎襲名披露- ●7月14日(日) 昼の部午後0時30分開演/夜の部午後5時30分開演 ●3月15日(金) 発売開始 ●リッカルド・ムーティ&スカラ・フィルハーモニー管弦楽団 ●9月11日(水) 午後7時開演 ●単券3月15日(金) 発売開始



リッカルド・ムーティ
(指揮)

お知らせ

Information

募集

●内閣府「国際青年の村」参加者募集 ●共同生活や諸活動を通じ、各国の青年との相互理解や友好を深めます ●期間 8月6日(火)~13日(火) ●場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)、国立中央青年の家(静岡県) ●募集人員 約100名 ●応募資格、方法など詳細はお問い合わせください ●問合せ 県女性青少年課 ☎028-623-3075

催し

県立美術館開館30周年記念 クールベ展 -自然と女性-

期間 4月14日(日)~5月26日(日)



「コンチェルト」
1874年
クールベ美術館蔵

19世紀フランスの写実主義の巨匠クールベの芸術を、故郷オルナン美術館の所蔵品と30周年記念のために特別に出品された代表作など、絵画70点、素描30点により回顧します

◇問合せ 県立美術館 ☎028-621-3566

●緑の相談所の催し

【中央公園(宇都宮市) ☎028-636-7621】
●栃木の野鳥写真展 3月21日(木)~3月31日(日)

日(日) ●県内で見られる野鳥を写真で紹介 【井頭公園(真岡市) ☎0285-82-4475】
◎「下野の自然を描く」作品展 3月28日(木)~4月7日(日) ●植物を描いた絵手紙を展示 【那須野が原公園(西那須野町) ☎0287-36-1220】
◎県営都市公園写真コンクール作品展 3月20日(水)~27日(水) ●県営都市公園の季節感あふれる写真を展示 【みかも山公園(岩舟町) ☎0282-55-7733】
◎早春の花写真展 3月31日(日)まで ●同公園で見られる春咲きの草花を紹介 【日光だいや川公園(今市市) ☎0288-23-0208】
◎きのご絵画展 3月20日(水)~27日(水) ●きのごをスケッチし、色彩を施した絵画を展示

●国会等移転「課題別講演会」

●3月25日(月) 午後1時30分~4時 ●場所 矢板市文化会館 ●テーマ 環境共生型新都市の実現を目指して ●問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室 ☎028-623-2209

案内

●外国語で生活関連情報を提供します ●県内にお住まいの外国人の皆さんが安心して生活できるように、行政手続やアパートの借り方などの情報を県ホームページで提供しています ●英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、日本語でご覧になれます。ぜひ、ご利用ください ●アドレス <http://www.pref.tochigi.jp/kokusai/life> ●問合せ 県国際交流課 ☎028-623-2198

●イタリア大使館別荘記念公園開園のお知らせ

●豊かな自然や国際避暑地の歴史にふれてみませんか ●場所 日光市中禅寺湖畔(歌ヶ浜駐車場から徒歩15分) ●開園期間 4月1日(月)から11月30日(土)まで ●開園時間 午前9時~午後4時(7~8月は午後5時) ●休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日) ●問合せ 日光自然博物館 ☎0288-55-0880

●県民の森キャンプ場予約受付開始 ●場所 矢板市長井2927 ●予約受付 4月1日(月) 午前8時30分から ●申込み 電話または来所 ●キャンプ場開設期間 7月15日(月)~8月31日(土) ●問合せ 同管理事務所 ☎0287-43-0479

●消費税及び地方消費税の確定申告をお忘れなく

●個人事業者の13年分の消費税及び地方消費税の確定申告と納税は4月1日(月)までです ●期限間近は窓口が混雑しますのでお早めに ●納税は便利な口座振替をご利用ください ●詳しくは最寄りの税務署へ

●「県民だより」増刊のお知らせ

●3月30日(土)に「国会等移転特別号」を新聞折込によりお届けします ●ぜひ、ご覧ください

夕暮れ時みんなで 早めにライトアップ!

「ヘッドライト早め点灯運動」推進中!

日没30分前にはライトをつけよう
お互いの姿を早めに確認して事故を防止しよう



春の交通安全県民総ぐるみ運動
期間 4月6日(土)~15日(月)

◇問合せ 県交通対策課 ☎028-623-2183

県の広報番組 とちぎテレビ

クロスアップ とちぎ 毎週土曜日 9:00~9:30 (再)月曜日 22:00~22:30

3月16日 知ってますか?環境ラベル
23日 わが街の駐在さん
30日 県政フラッシュダイジェスト
4月6日 平成14年度当初予算
13日 雇用対策事業

20アワー 毎週日曜日 18:05~18:30 (再)月曜日 12:05~12:30 3月 4月 12:10~12:35

3月17日 国会等移転
24日 子育て環境づくり
31日 とちぎマイスター
4月7日 Jr.知事さん ほか
14日 統計調査あれこれ

とちぎ情報局 毎週木曜日 22:00~22:45 (再)日曜日 8:30~9:15 3月 4月 毎週日曜日 9:00~9:45 (再)木曜日 22:00~22:45

3月21日 とちぎ春夏秋冬(茂木・大田原ほか)
28日 みんなでジャンプ!フェスティバル
4月7日 新・県民レポーター登場です!
14日 決定!!番組イメージソング

●特別番組「郷土を抱く山々」

●3月30日(土) 10:30~11:00
人々のふるさとの山に寄せられる想いや関わりを描きます
出演者



船村 徹さん



荒川じんべいさん



立松和平さん

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

がんセンターが新しく生まれ変わりました

がんセンターは昭和61年の開所以来、本県がん診療の中核的病院として質の高い医療を提供してきました。年々増え続けるがん患者に対応するため平成9年度から施設の拡充整備に取り組んできましたが、いよいよ平成14年度から全病棟(357床)がオープンします。今回の整備により新しく改善された点をお知らせします。

新しくなった点

①病床数が増えました

新館の建設などにより病床数が157床増加。入院を希望する患者さんにベッドの空きを待たない状況はなくなりました。

②ゆとりある病室になりました

新館と本館の全ての病室が個室又は4床室となり、より快適な入院環境になりました。

③緩和ケア病棟を開設しました

新館5階に緩和ケア(ホスピス)病棟を開設。一人ひとりの人間性を尊重した医療を行っています。

④無菌病棟を開設しました

新館4階に無菌病棟を開設。免疫不全の患者さんの治療等に十分対応できるようになりました。

⑤より高度ながん研究に取り組んでいます

がん遺伝子に関する研究やがん検診等を行う研究所を開設し、診療技術の向上を図っています。

最高の技術を愛の心で

がんの診療技術は年々進歩しており、早期発見と早期治療により、多くのがんは治療可能となってきています。

がんセンターでは、施設整備のほかマイクロトンなどの高度医療機械を導入したり、がん専門医療スタッフを充実したりしています。

今後も地域医療機関と連携し、「学問に裏付けられた最高の技術を愛の心で」という理念で、よりよい診療に努めます。



緩和ケア病棟
ベッドのままベッドへ

◇問合せ 栃木県立がんセンター ☎028-658-5151 宇都宮市陽南4-9-13 <http://www.ncc.go.jp/tcc/>